東京女子高等師範學校教授
同附屬高等女學校主事　倉橋惣三氏著

幼稚園雜草

◇四六判特製美本函入
◇定價金貳圓五拾錢
◇送料金拾八錢
◇紙數五百二十餘頁

東京市日本橋區大傳馬町二丁目
內田老鶴圃
振替東京一二一四六番
電話浪花一三三五番

最新刊

教育の理論を說いた書は多い、方法を教へた書は更に多い。しかし教育の心を語つた書は少ない。とけわけて眞に幼兒の生活に觸れた書は更に少ない。

現代の日本が生んだ唯一の幼兒教育の權威たる著者は、永くお茶の水の幼稚園の主事として令名嘖々たる人、本書は著者が多年幼兒の間に在つて體得した獨自の感想と考察とを述べて、幼兒の生活を中心とした人間教育の眞意を味到せしめんが爲めに、教育者と家庭の母とに贈つたものである。或は詩趣に充ちた感想文があり、教育の理想國を描いた創作があり、或は著者の溫容を彷彿せしむる講話があり紀行觀察錄がある。豐かなる興味と深き感銘と淸き教訓とは、そのまゝ著者の心より讀者の胸へ流れ渡つて盡きないものがあらう……

◇本書內容目次◇

▼園丁雜感——▽我等の前途▽人間の偉大さ▽自然との一致▽日光の子ども▽國家のために▽子どものしもべ▽うるほひ▽まこと▽一點の嚴肅味▽一人の尊嚴▽布袋讚▽親しむ心▽新らしみ▽お正月▽寒風▽春が來る▽外へ外へ▽學ぶべき春よ▽ころもがへ▽雨の日▽六月の野へ▽うるほへ▽夏やすみ後▽秋が來た▽幼稚園　遺跡に立ちて▽お茶の水に歸る▽この春▽夏が來ました▽大災と幼兒教育▽行啓を迎へまつりて。

▼森の幼稚園——1[illegible]の先生　2ガーデン主義　3園長主任　4笑がほの人　5詩の會　6應接間　7研究會　8新茶▽夏子。

▼幼稚園の生活——幼稚園は如何なる處か▽幼稚園の此頃▽新人園兒を迎へて▽幼稚園を終了する兒童達に▽お子さんを初て幼稚園に送る方に▽家庭と幼稚園▽幼稚園の朝▽個人對話の敎育價値▽園外保育▽砂場の屋根▽恩物に就て▽幼兒の舞踊に就て▽本眞劍▽斯く育てたしと思ふこと▽敎育問答。

▼幼兒敎育者——幼稚園の保姆▽保姆その人▽何を以て導かんとするや▽幼兒敎育の第一義▽我等は幼兒を尊重する人でなければならぬ▽子どもから學べよ▽幼稚園敎育の積極性▽新たに考へよ▽斯くてまた暮れ行く▽機嫌のよしあし▽途上▽フレーベル傳樹感▽フレーベルと婦人▽ブロー女史を憶ふにつけて△フレーベルの日に。

▼幼兒敎育小觀——幼兒敎育の新目標▽幼兒敎育の特色▽フレーベル主義の新習▽幼稚園と小學校との連絡▽高等女學校と幼稚園▽幼稚園の副次的任務▽英國の保育學校▽シカゴ及コロンビヤ大學の幼稚園▽ドーナー・グローブの幼稚園。（目次終り）

◇幼兒に聽かせるお話

倉橋惣三先生序
日本幼稚園協會編

定價　參圓八拾錢
送料　拾八錢

◇幼稚園保育要目

萬國幼稚園協會案
日本幼稚園協會譯
倉橋惣三先生序

定價　壹圓五拾錢
送料　拾貳錢